

# さぽろっこ 読書プラン

とは？

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、子どもたちの自主的な読書活動を進めるために策定された札幌市の計画です。計画期間は平成27年度から31年度までの5年間です。

## 計画の基本目標

1 読書の楽しさにふれる

2 読書の大切さを知る

3 子どもの読書をみんなで支える

## 計画の基本方針

1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

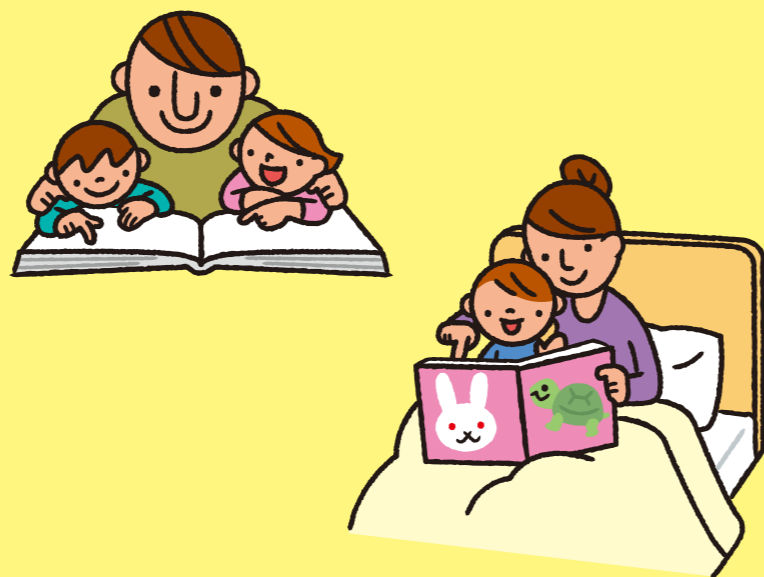
3 子どもの読書環境の充実



## どうして読書が大事なの？

- 言葉の力がつきます。
- 物語を読むことで、いろいろな体験を楽しめます。
- 自分の知らないことを知ることができます。
- 自分とはちがう、ほかの人の考え方にふれることができます。

本を読むことで、楽しみながら、おぼえる力や考える力、想像する力など、生きるための力がつきます。



## 普段から読書をするには

- 空いている時間を利用して本を読みましょう。
- 自分が読みやすい本から読んでみましょう。
- 物語を読むのが苦手な人は、自分が興味のあることに関する本を読みましょう。スポーツや音楽など、どんなジャンルでもかまいません。
- 調べるときは、図鑑や事典を使ってみましょう。
- 学校図書館や地域の図書館を利用してみましょう。



## 主な施策

### 読書の楽しさにふれるために

- 保健センターで10か月児健診の時に絵本を配り、読み聞かせをします。
- 幼い子どもの年齢に合わせたおはなし会などを行います。
- 図書館では子ども向けの行事や図書館の使い方などの講座をします。
- 学校では一斉読書をします。
- 中学校の図書館に学校図書館司書がつきます。学校図書館司書一人がいくつかの学校を担当します。
- 学校の施設見学や調べ学習などで図書館を使ってもらい、学校の勉強をお手伝いします。

### 読書の大切さを知るために

- 子どもの年齢に合わせて、読書のきっかけづくりのイベントを行います。
- 家族みんなで読書をする楽しみを広めます。
- 子ども読書の日に図書館全館で特別行事を行います。子ども読書の日や読書の楽しみを広めます。
- スマートフォンやタブレット端末などで本が読める電子図書館を広めます。
- 図書館のホームページに中学・高校生向けページを新しく作ります。また、図書館のホームページを詳しくわかりやすいものにし、図書館や本に関する情報をたくさん発信していきます。

### 読書を支えるために

- 読み聞かせボランティアの研修を行います。
- 学校図書館の地域の人たちの利用を進めていきます。
- (仮称)絵本図書館を作ります。
- 札幌の魅力モチーフとした絵本を募集して、デジタル絵本を作ります。
- 障がいのある子どもたちを支援します。
- 学校図書館の本を計画的に整備します。
- 図書館、幼稚園、保育園、学校などが協力して、みんなが楽しく本を読んでもらえるような環境をつくっていきます。